

DAIDO UNIVERSITY NEWS

DAIDO

CAMPUS

ISSUE
105

2022年
7月発行

特集

2024年4月、
建築学部(仮称)設置構想中！



D A I D O

情報デザイン学科の学生が デザインしました!!



求人のための大学案内2022

守田柚季さん



資格講座案内2022

丸山寛矢さん



2023入学試験募集要項

丸山寛矢さん

授業料等

学費免除

のご案内

全額免除

4年間で約480万円免除

対象となる入学試験において特に優秀な成績である者に対し、授業料及び施設設備費相当額を全額免除します。入学後の成績基準を満たせば、最大4年間で約480万円が免除となります。(年間約120万円)

半額免除

4年間で240万円免除

対象となる入学試験において一定の成績基準を満たせば、授業料及び施設設備費の半額相当額を免除します。入学後の成績基準を満たせば、最大4年間で240万円が免除となります。(年間60万円)

募集定員合計50名程度

全額特別奨学生チラシ

対象となる2023年度入試試験日程

入学種別	出願期間	試験日	合格発表日	入学金納付	授業料納付
特別奨学生・M方式	12/1(木)～12/8(木)	12/17(土)	12/28(金)		
前期A方式	1/1(日)～1/12(木)	1/21(土)	2/7(火)	2/22(水)	3/8(月)
前期B方式		1/22(日)			
共通テスト利用前期(5方式10方式)	1/1(日)～2/1(水)	-	2/14(火)		

詳細については、「入学試験募集要項」をご確認ください。

大同大学
DAIDO UNIVERSITY

自分が変わる、未来を築く。

齋藤ひかりさん

情報学部 情報デザイン学科 桐山岳寛講師が推薦した学生たちが、キャリア支援室や入試・広報室で発行する冊子の表紙やチラシをデザインしました。それぞれの受け取り手や発行する目的などをよく考え、職員にプレゼンテーションし、発行側の意見を取り入れながら制作しました。

総合・推薦型入学時特別奨学生制度のご案内

入学金が 実質的に **全額 or 半額** 免除になる採用試験

出願で かならず 入学金「半額以上」返還!!

出願書類(学校長推薦書、調査書)および面接の総合評価で奨学生適用(第1種あるいは第2種)が判定されます。

給付金

第1種総合・推薦型入試時特別奨学生: 入学金の全額
第2種総合・推薦型入試時特別奨学生: 入学金の半額

給付人数

第1種: 10名程度
第2種: 20名程度

出願条件

1	2	3
総合・推薦型入試合格者	欠席日数 5日以下	全体の学習成績の状況 4.3以上 または 資格取得者 以下から一つ以上
2023年3月に 高等学校を卒業見込みの 方に限ります。	3年出1学期 (前期)時点。	・グローバルマスタースター35級以上 ・英検2級以上 ・全国1府3県最上位 ・TOEIC400点以上 ・深模第1級以上 ・GTEC830点以上

大同大学 DAIDO UNIVERSITY 自分が選べる、未来を変える。

総合・推薦型特別奨学生チラシ

秋田詩織さん



女子チラシ

松原知里さん

知って欲しい、
大同生のこと。

専攻・学部・学科を問わず、
大同大学には素敵な学生がたくさんいます。
そんな「大同生」を学生目線でお伝えします!

知って欲しい、大同生のこと。

松原知里さん

知って欲しい、大同生のこと

松原知里さん

保護者のみなさまへ

DAIDO UNIVERSITY

だいどう

知ってほしい、大同大学のこと。

CONTENTS

- 大学施設紹介
- 学科構成
- 学費・奨学金制度
- 就職実績
- 大学アクセス

嶋田菜帆さん

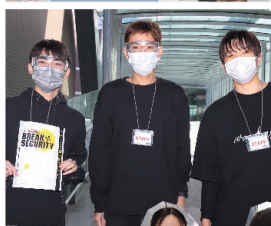
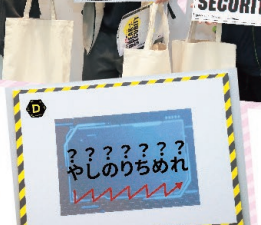
知ってほしい、大同大学のこと

嶋田菜帆さん

在校生・新入生イベントを開催しました!

3月25日(金)に在校生向けのイベント、4月2日(土)・3日(日)に新入生向けのイベントを実施しました。在校生イベントはX棟を中心に、新入生イベントはキャンパス全域を範囲として謎解きゲームを開催しました。全員が挑戦する謎の他にも、各学科・専攻ごとにコースを設定し、チームで協力して謎を解き、ゴールへとたどりつくことができます。参加者のアンケート結果もよく、イベントの満足度はとても高かったです。

在校生 EVENT



新入生 EVENT

神谷隆太さん(機械工学科)

武藤栄次賞を受賞しました

工学部 機械工学科 萩野研究室 4年 神谷隆太さんが公益財団法人 日本設計工学会より、日本設計工学会 武藤栄次賞を受賞しました。神谷さんは、設計に関する科目において優秀な成績を修め、今回の受賞に至りました。



▲左から受賞した神谷さんと指導教員の萩野講師

大槻心一郎さん、羽根凜花さん(建築学科 建築専攻)

「Nagoya Archi Fes 2022 中部卒業設計展」で入賞しました!



▲(左)大槻さんの作品、(右)羽根さんの作品

3月15日(火)、16日(水)、吹上ホールで開催された「Nagoya Archi Fes 2022 中部卒業設計展」にて、工学部 建築学科 建築専攻 米澤隆研究室 4年 大槻心一郎さん、武藤隆研究室 4年 羽根凜花さんの作品が入賞しました。

Nagoya Archi Fes 2022 中部卒業設計展(通称NAF)は、今年度で9年目を迎える中部地方の建築系大学からの応募を対象とした卒業設計展で、今年度は約70点の作品を展示するとともに、1日目の審査では中部圏で活躍される方が審査員となりそれぞれの個人賞を選出するかたちで、2日目の審査では様々な地域で活躍される建築家の方が審査員となり、ファイナリスト選考で選ばれた作品を公開審査を経て、入賞作品を選出する形で開催されました。大槻さんの「裏・繋・路 -Negative space が作り出す流動性、関係性-」は、2日目の審査での優秀賞に、羽根さんの「灯火のカンタータ 日常と非日常からなる音楽空間への誘い」は、1日目の審査での太幅英亮賞に、それぞれ選出されました。

Nagoya Archi Fes 2022

—中部卒業設計展—のHPはこちら

<https://nagoya-archi-fes.com/>


児玉勇毅さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

日本熱処理技術協会講演大会で研究発表をしました

2021年11月25日(木)、26日(金)、島根県松江市で開催された第92回日本熱処理技術協会講演大会で、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 1年 児玉勇毅さんが学部4年生以来取り組んできた研究の発表を行いました。



▲研究発表をした児玉さん

児玉さんは、レーザ積層造形という特殊材料の加工方法において、固体銅(Cu)に工具鋼(SKD61)を溶着させた時の金属組織について研究しました。Cu/SKD61は、互いの化学的性質が著しく異なるため一般に接合は困難ですが、うまくいけば高温の金型を固体冷却できる方法につながります。田中研究室では2019年度より(一財)天田財団の助成を受け、Cu/SKD61界面の特異なミクロ形態や熱伝達特性について研究を行ってきました。このたびニッケル(Ni)を添加した中間層を設けることで、SKD61がうまく溶着し造形しやすくなることを見出し、発表にこぎつけました。今後、その熱伝達特性を実験とシミュレーションにより評価し、金型冷却への有用性を検証していく予定です。

◆児玉さんの研究発表のテーマ

LMDによるSKD61/Cu接合造形—第2報— 接合界面の組織と冷却特性

杉江彰人さん(建築学科 インテリアデザイン専攻)

卒業設計作品「題名なき音の主題」がCIP学生賞を受賞しました



▲杉江さんの卒業設計作品「題名なき音の主題」

3月18日(金)、中部インテリアプランナー協会(CIP)が主催する「CIP学生賞」に、工学部 建築学科 インテリアデザイン専攻 船橋研究室 4年 杉江彰人さんの卒業設計作品「題名なき音の主題」が選出されました。CIP学生賞は、中部インテリアプランナー協会が主催する、おもに中部地域の卒業設計作品を対象としたものです。

今回のCIP学生賞受賞作品は、CIP情報誌 VOL.31(2022年5月発刊)に掲載され、CIP第27回通常定期総会(2022年6月)会場内に作品パネルとともに発表されました。

中部インテリアプランナー協会のHPはこちら

<http://www.chubu-ip.com/>
篠崎賢大さん/バレーボール部
(総合情報学科 スポーツ情報コース)第24回夏季デフリンピック
ブラジル大会に出場しました

5月1日(日)~15日(日)、ブラジル カシアス・

ド・スルにて行われた第24回夏季デフリンピック

ブラジル大会のデフバレー競技において、バレー

ボール部の篠崎賢大さん(情報学部 総合情報

学科 スポーツ情報コース)が日本代表として

出場しました。デフリンピックとは、聴覚障害者による

世界規模のスポーツ大会です。デフバレーとは、聴覚障害者による

バレーボールのことで、チームメイトの声や審判の笛の音、ボールの音が

聞こえない状態でプレーをする競技です。

4月26日(火)には、日本代表選手に選出された篠崎さんの健闘を祈念

するため、激励会が開催されました。激励会では、篠崎さんが大会への抱負を

語るとともに、武藤理事長、神保学長から激励を受けました。

篠崎さんの活躍を応援しています!

日本デフバレーボール協会のHPはこちら

<http://www.jdva.jp/men>


▲激励会で理事長・学長らと記念撮影をする篠崎さん



近藤早紀さん(大学院 工学研究科 材料・環境工学専攻)

日本建築学会東海支部主催
「建築系分野の研究と専門職
—専門職で働く建築系分野の卒業生との交流会—
にて招待講演を行いました

2月22日(火)に開催された日本建築学会東海支部主催「建築系分野の研究と専門職 —専門職で働く建築系分野の卒業生との交流会—」にて、大学院 工学研究科 博士後期課程 材料・環境工学専攻 3年 近藤早紀さんが講演しました。

大学卒業後の進路の一つとして大学院進学があります。大学院では、大学で学んだ知識や理論を応用して、さらに踏み込んだ学術的な研究を行い、より専門的な知識や技術を身に付けていきます。しかし、身近に大学院生がいない場合には、大学院に進学する意味やその後の将来像を描きにくいということもあると思います。そういった大学生へ向けて、大学院生である近藤さんが、卒業後の進路を考える上でのヒントになるよう体験談を交えながら講演しました。

建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻

X棟に係る卒業研究発表および意見交換会が開催されました

2月25日(金)、X0202講義室でX棟を研究対象として実施された渡邊研究室および岡本研究室に所属する4年次生による2021年度の卒業論文5題について、法人本部管



▲意見交換会の様子

財室の高橋室長および西村室員を招いた意見交換会が開催されました。卒論発表会では時間の制限もあり、研究成果について十分な議論ができなかったこともあり、改めて意見交換をすることで、今回の研究成果が少しでも今後の施設運用に役立てばという趣旨で行われました。

また、当日は、渡邊研究室、岡本研究室に配属された3年生の希望者と、さらにはX棟を設計した株式会社日建設計から設備設計担当者の佐藤さんも出席しました。

X棟は校舎のあちこちに「見える教材」として活用できる工夫が凝らされています。しかし、今回の卒論は、X棟の「熱」「音」「光」と目に見えない要素を研究テーマとしており、X棟がまさにそのコンセプトどおり「生きた教材」であることが伺えます。

当日は、佐藤さんをはじめとするプロの視点で多くの質問があり議論を深めることができ、また次年度以降へと繋がる課題等も提起され、大変有意義な意見交換となりました。

学生にとってはまさに「実学主義」に沿った、実践的な場になりました。

電気電子工学科

(浦井一教授、植田俊明教授、村上彰さん)

電気学会東海支部研究フォーラムを開催しました

2月26日(土)、電気学会東海支部研究フォーラムがオンラインで開催されました。

本フォーラムは電力システムに対する雷・自然災害と環境問題



▲村上さんの発表の様子

に関するテーマについて討論するフォーラムです。今回は工学部電気電子工学科 植田俊明教授が世話人となり地球温暖化防止を目指した取り組みをメインテーマとする発表会を企画しました。

研究発表と特別講演が企画され、研究発表では、大学院進学の工学部 電気電子工学科 植田研究室 4年 村上彰さんが「再生可能エネルギー大量導入時における電源脱落時の周波数低下に関する基礎的検討～CAESの効果～」について報告しました。また、特別講演では、電気電子工学科 浦井一教授が「ガス絶縁開閉装置における脱SF6化の取組～電流遮断技術の動向～」について講演しました。

いずれも地球温暖化防止のための再生可能エネルギーの導入拡大や温暖化ガスの排出削減に関する取り組みに関心が高く、参加者による活発な意見交換がなされました。今後もこのような発表会を企画することで再生可能エネルギーの導入促進の機運を高めて行きたいと思います。

情報デザイン学科

GAIA2021のプロモーション活動完了しました



▲活動報告会に参加したメンバー

情報学部 情報デザイン学科 上岡研究室では、2020年から愛知県自然環境課から依頼され、愛知県内のユースが参加する「生物多様性あいち学生プロジェクトGAIA」の情報発信を、他大学のユースメンバーと共に行なっています。

3月20日(日)、2021年度の活動報告会があいちNPO交流プラザにて行われました。

また、2021年度は昨年に引き続きアニュアルレポートの他に、メンバー参加意識高揚策としてのプロモーションカードや、WEB CMの製作も行いました。

今年度の活動では、情報学部 情報デザイン学科 上岡研究室 3年 犬飼悠涼さんがWEB CM編集製作を、坂口日菜さんがプロモーションカード、アニュアルレポートデザインを、畑本有輝さん、服部信晃さんがWEB CM素材撮影を担当し、GAIAの生物多様性保全活動に参加しながら製作しました。

なお、この活動は2022年度も継続し、上岡研究室の新たな3年生によって、今後さらなる情報発信活動が期待されています。

GAIA2021で作成されたWEB CMはこちら

https://youtu.be/PUPNkDs_Yuw



▲プロモーションカード



▲アニュアルレポート

建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻、
情報デザイン学科
メディアデザイン専攻/プロダクトデザイン専攻
「X4デザイン専攻リレー展示」
バーチャル展示ページを
公開しました



本学ホームページにおいて、「X4デザイン専攻リレー展示」のバーチャル展示ページを公開しました。

「X4デザイン専攻リレー展示」とは、大同大学の建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻、情報デザイン学科 メディアデザイン専攻/プロダクトデザイン専攻の4つの専攻からなるリレー展示です。

2月23日(水・祝)～3月6日(日)の期間で、卒業制作作品から選抜された学生作品や、リレー展示のために学生たちが4年間の集大成として取り組んだ作品が各所で発表されていました。

その作品展示の様子が、今回公開されたページからご覧になることができます。

学生たちの作品をぜひご覧ください。

バーチャル展示ページへのリンクはこちら

<https://www.daido-it.ac.jp/X4/>



かおりデザイン専攻

第21回におい研究交流会を開催しました

2月10日(木)、本学にて、第21回におい研究交流会をオンラインで開催しました。本交流会には、学生や企業・他大学など総勢120名が参加しました。

今年度は、Zoomのブレイクアウトルームを利用して少人数でディスカッションできる内容とし、活発な議論や質疑応答も行われました。

また、恒例の「大同のかおりコンテスト」では、『忘れられないいいかおり』をテーマに学生たちが試行錯誤し、制作した作品を発表しました。

参加者には、事前に学生の制作したかおりを送り、当日学生のプレゼンテーションを聞きながらテーマに相応しいと思われる作品に投票いただきました。

その結果、工学部 建築学科 かおりデザイン専攻 3年 北野有紗さん、栗原佳大さん、澤田志帆さんチームの作品「故を想ふ～想ひ出に手を合わせて～」が1位に選ばれました。

2位には、同専攻 2年 山田達也さん、横山信一さんチームの作品「Birthday Cake」が選ばれました。

澤岡昭名誉学長

『宇宙に生命を求めて』をテーマに講演しました

3月5日(土)、大府市が主催するおおぶアカデミーが、大府市立吉田公民館で行われ澤岡昭名誉学長が『宇宙に生命を求めて』をテーマに講演しました。



講演では、探査機「はやぶさ2」が ▲講演会の様子

小惑星「リュウグウ」から鉱物を持ち帰るというミッション遂行までの道程とともに採取した鉱物は生命の源であるアミノ酸が地球外の宇宙で誕生したことを実証する可能性があることを紹介しました。

講演終了後、参加者からは、「小惑星に行くまでの時間に比べ、帰ってくる時間が短いのはなぜ?」という質問をはじめ、さまざまな質問が寄せられ、澤岡名誉学長が丁寧に回答していました。

君山博之教授(情報システム学科)

映像処理エッジを複数連携させた8K非圧縮映像のライブ製作・配信実験に成功しました

国立研究開発法人情報通信研究機構(以下「NICT(エヌアイシーティ)」)という。)が主催し、2月に実施された「超高精細映像遠隔配信実験2022」において、大同大学は、神奈川工科大学、琉球大学、ミハル通信株式会社と協力して、ネットワーク上のクラウドシステムとエッジシステムを用いることによって、1秒あたり24～48ギガビットの大きなデータ量を持つ圧縮されていない(非圧縮)8Kライブ映像のリアルタイム切り替え処理、および、非圧縮8K映像をリアルタイムに変換処理する実験に成功しました。

具体的には、並列分散リアルタイム処理技術の研究成果を元に開発した、非圧縮8K映像フォーマットをリアルタイム変換するソフトウェアや、8K映像を切れ目なく切り替え処理するソフトウェアを実装したネットワーク内のエッジに設置した計算機システムを用いて、沖縄および札幌からの非圧縮8Kライブ映像とクラウド内の8K映像サーバからの映像をライブ切り換えや変換処理できることを実証しました。また、グランフロント大阪の実験拠点において本研究成果のデモンストレーションも行いました。今後は、フォーマット変換以外の処理を実現していく予定です。

この研究成果により、専用の装置を拠点ごとに配置することなく、ネットワーク内の計算機リソースを用いて映像処理が可能になることから、8Kをはじめとする高精細映像をオンラインで処理することが可能となり、高精細映像の利用活性化につながるものと期待されます。本学では、情報学部 情報システム学科 君山博之教授がこの研究に携わっています。なお、本研究成果の一部は、NICTの委託研究により得られたものです。

8K映像は現在、放送で利用されている映像の中で最も高精細な映像であり、ハイビジョンの16倍の画素によって構成されている映像です。

超高精細映像遠隔配信実験2022について

<https://testbed.nict.go.jp/event/yukimatsuri2022-press.html>



桐山岳寛講師(情報デザイン学科)

書籍「ART×国際協力～世界中に風を通す扉を～」の一部を執筆しました



書籍「ART×国際協力～世界中に風を通す扉を～」(山田猛 編著、青山社)の一部を、情報学部 情報デザイン学科 桐山岳寛講師が執筆しました。この書籍は国際協力機構(JICA)の「JICA協力隊」として美術・デザイン分野において活動した元隊員7名による活動体験と現代の国際協力の意義について論じたものです。

桐山講師は、2011年から2013年のモンゴル国立工業美術学校でのデザイン教育活動について報告しています。

浦井一教授(電気電子工学科)

電力機器(開閉技術)に関する国際会議で発表しました

3月17日(木)、IEEE Power & Energy Society 共催の第6回電力機器(開閉技術)に関する国際会議(The 6th International conference on Electric Power Equipment - Switching Technology)が韓国ソウルで開催されました。工学部 電気電子工学科 浦井一教授の論文3報が採択され、浦井教授は内1報をオンラインで発表しました。

国際会議のHPはこちら

<https://www.icepe2021.org/>



浦井一教授(電気電子工学科)

電気学会 電力・エネルギー部門 U-21学生研究発表会の座長および審査員を務めました

3月19日(土)、電気学会 電力・エネルギー部門 U21研究発表会がオンラインで開催され、工学部 電気電子工学科 浦井一教授が座長および審査員を務めました。

一般社団法人 電気学会のHPはこちら

<https://www.iee.jp/pes/u-21-2022/>



浦井一教授(電気電子工学科)

ノルウェー科学技術大学のPhD審査委員に就任しました

工学部 電気電子工学科 浦井一教授がNorwegian University of Science and Technology(ノルウェー科学技術大学)のAssesment committee of PhD thesis(博士論文審査委員会)の委員に就任しました。浦井教授は6月17日(金)に開催されたPhD public defense(博士論文公聴会)に1st opponent(第一審査員)として参加しました。

ノルウェー科学技術大学のHPはこちら

<https://www.ntnu.edu/>



堀内名誉教授

名誉教授称号授与式を行いました



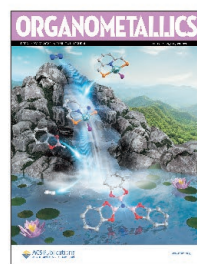
▲記念撮影の様子／(左)神保学長、(中)堀内名誉教授、(右)武藤理事長
[写真撮影時のみマスクを外しています]

4月1日(金)に新型コロナウイルス感染予防対策を講じた上で、名誉教授称号記授与式が行われました。今年度新たに、堀内将人名誉教授が称号を授与されました。堀内名誉教授に神保学長が称号記を授与し、これまでの教育及び学術上の功績に敬意を表すとともに、本学での功労に感謝の言葉を述べました。

田中宏昌教授(教養部)

研究論文が国際学術誌の表紙に選ばれました

田中宏昌教授(教養部 化学教室)の研究論文が、国際学術雑誌“Organometallics”の表紙に選ばれました。この研究は、空気中の窒素をホウ素(B)やケイ素(Si)を含む物質に変換する化学反応の開発に関するものです。この研究が発展すると、空気から「付加価値の高い」医薬品や工業製品の原料を作ることが可能となります。東京大学の西林仁昭教授、九州大学の吉澤一成教授らとの共同研究の成果で、田中教授はコンピュータシミュレーションによる反応機構解析を担当しました。



◆論文そのものはダウンロードすることはできませんが、要旨のみ無料で閲覧できます(下記URL)

<https://pubs.acs.org/doi/abs/10.1021/acs.organomet.1c00597>

◆論文のタイトルと著者などの情報は以下の通りです。

"Hydroboration and hydrosilylation of a molybdenum-nitride complex bearing a PNP-type pincer ligand"
Takayuki Itabashi, Kazuya Arashiba, Hiromasa Tanaka, Kazunari Yoshizawa and Yoshiaki Nishibayashi
Organometallics, 41, 366-373 (2022).
DOI: 10.1021/acs.organomet.1c00597



高橋之准教授(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

日本建築学会奨励賞を受賞しました

工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 高橋之准教授が、2022年日本建築学会奨励賞を受賞しました。

高橋准教授は、「袖壁付き柱、腰壁および垂れ壁付き梁のせん断弾性剛性」を研究のテーマとし、論文を執筆しました。

日本建築学会は、奨励賞に選出した理由として、「論文では丹念に理論式を構築し、卓越した緻密さでその計算結果を検討するとともに、既往の実験データを用いて検証を行っている。一定程度の壁長さがあれば、せん断変形の形状係数はこれまで広く用いられている数値で十分精度よく推定可能であることを示しており、今後の構造設計においても広く認知されるべき論文である」と考える。以上より、本論文は日本建築学会奨励賞にふさわしい業績として高く評価できる」と述べていました。

その他受賞者一覧はこちら

<https://www.aij.or.jp/2022/2022prize.html>



植田俊明教授(電気電子工学科)

電気学会よりフェロー称号を 授与されました

3月2日(水)付で工学部 電子電子工学科 植田俊明教授が一般社団法人電気学会より令和3年度のフェローとして認定されました。

電気学会では、電気・電子・情報通信とその関連分野技術の見識に優れ、責任ある立場で長年にわたり指導的役割を果たし、社会および電気学会の発展に顕著な貢献をなした会員に、会員の地位向上・国際活動をより円滑にし、合わせて電気学会のより一層の活性化をはかることを目的としてフェロー制度を制定しています。

今回、植田教授の長年にわたる電力系統の雷サージ解析技術に関する研究開発が評価されてフェロー認定に至りました。

渡邊慎一教授、岡本洋輔准教授

(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

教科書「建築の環境」が出版されました



工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 渡邊慎一教授、岡本洋輔准教授が執筆に加わった教科書「建築の環境—基礎から学ぶ建築環境工学—」が、3月30日(水)に理工図書から出版されました。

この教科書は、建築系の大学で学生が「建築環境工学」を学ぶ際に利用することを想定して作成されたもので、内容を直感的に理解しやすいように、また建築の環境に興味を抱けるように、従来の教科書に比べてイラストをふんだんに使用しています。さらに、建築環境の視点から特徴的な設計事例やトピックスも多く掲載するなど様々な工夫が盛り込まれています。

渡邊教授は第2章の「熱環境」を、岡本准教授は第5章の「音環境」を主に担当していますが、共同執筆者の名古屋工業大学および名城大学の教員と、すべての章でそれぞれの大学・授業科目に置いて適した内容となるような調整が行われています。

本学では2022年度前期から、この教科書を使用した授業が開始されています。

「建築の環境」についてはこちら

<https://www.rikohtosho.co.jp/book/2864/>


浦井一教授(電気電子工学科)

電気学会論文誌Bに 解説論文が掲載されました

電気学会論文誌B(電力・エネルギー部門誌)の2022年5月号に、工学部 電気電子工学科 浦井一教授の解説論文「高電圧ガス遮断器の電流遮断シミュレーション技術」が掲載されました。電力用遮断器を対象とした解析技術について最新の動向をまとめたものです。地球温暖化ガスの一つであるSF6ガスの削減に向けた、SF6代替ガス遮断器開発へのシミュレーションの適用例も報告しています。

電気学会論文誌Bについてはこちら

<https://doi.org/10.1541/ieejpes.142.239>


棚村壽三准教授(建築学科 かおりデザイン専攻)

フジテレビ「ホンマでっか!?TV」に 出演しました

2月23日(水・祝)午後9時～放送されたフジテレビ「ホンマでっか!?TV」に工学部 建築学科 かおりデザイン専攻 棚村壽三准教授が出演しました。

棚村准教授は、「にょい」に関する解説をおこないました。

番組の公式HPはこちら

<https://www.fujitv.co.jp/honma-dekka/>


武藤大理事長

5/21(土) メ〜テレ「サクセス」に 出演しました



▲取材に答える武藤理事長

5月21日(土)午前7時55分～8時00分に放送されるメ〜テレ「サクセス」に武藤大理事長が出演しました。この番組は活躍する企業等のトップの情熱と素顔、そして「サクセス」ストーリーを紹介し、明日の活力の源を伝えるものです。

武藤理事長は、番組内のインタビューにおいて、大学の「DAIDO VISION 2030」及び新校舎X(クロス)棟について、高校は授業改革推進について答えました。

名古屋テレビの公式HPはこちら

<https://www.nagoyatv.com/>


▼取材時の写真



渡邊慎一教授

(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

NHK「さらさらサラダ」に 出演しました

5月20日(金)11時30分～放送されたNHK「さらさらサラダ」に工学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 渡邊慎一教授が「気になる! 紫外線対策」のテーマで出演しました。

番組内では紫外線対策としての日傘について、Q&A形式で構成されました。

番組HPはこちら

<https://www.nhk.jp/p/nagoya-salad/ts/R75W1KMVZZ/episode/te/46VY38WYNM/>


eスポーツ同好会

Shadowverse University Leagueでベスト4!

Shadowverse University League 2nd Season において本学のeスポーツ同好会がベスト4に入賞しました。

Shadowverse University Leagueとは対戦型オンライントレーディングカードゲームである「Shadowverse【シャドウバース】」の大学生向けの大会となっており、同じ大学のメンバーで繰り広げるチーム対抗のリーグ戦で先に5勝した方が勝利となります。

チーム名を「DUEC」として参加をした今回の大会では、eスポーツの競合である他大学と熱い戦いを繰り広げ、ベスト4に入賞することができました。

入賞大学は以下の通りです。

優勝	慶応義塾大学	第3位	京都大学
準優勝	北海道大学	第4位	大同大学

大同大学eスポーツ同好会では新しい部員を募集しています。

Shadowverse University League

HPはこちら

<https://shadowversecampus.jp/league/>



X(クロス)棟が第53回中部建築賞(一般部門A・入賞)を受賞しました!



▲X棟外観【PHOTO FUMITO SUZUKI】

本学X(クロス)棟が第53回中部建築賞(一般部門A・入賞)を受賞しました。

中部建築賞は、中部圏域の地域社会の発展に寄与し、かつ「持続可能な社会」を目指すという時代の要請に対応し、地域と環境に根ざした優れた作品に対して、その功績を讃え、これを賞するものです。したがって審査もそれらのことを総合的に検討されるとともに慎重に進められています。本賞は、その規模と内容の特殊性については今日までに行われた賞と比べて大きな特色を持つものです。

今年度の応募数は一般部門Aで32件、一般部門Bで28件、住宅部門で32件あり、一般部門Aでは入賞4件、入選4件、特別賞1件、一般部門Bでは入賞4件、入選2件、特別賞1件、住宅部門では入賞1件、入選3件でした。



中部建築賞のHPはこちら

https://www.tkbc.jp/arc_front.html



第53回中部建築賞の受賞作品はこちら

<https://www.tkbc.jp/53arc.html>



大同大学X(クロス)棟の作品選評はこちら

https://www.tkbc.jp/53_01_daiddoX.html

備一真さん(2020年度卒業生 総合情報学科 経営情報専攻)

卒業生が月刊バレーボールの特集に掲載されました

情報学部 総合情報学科 経営情報専攻(現:経営情報コース) 2020年度卒業生 備一真さんが『月刊バレーボール』の特集に掲載されました。備さんは、2021年10月からバレーボール1部リーグの大分三好ヴァイセアドラーに移籍し、リベロとして活躍しています。

ネット記事版はこちら

【バレー】大分三好ヴァイセアドラー 備一真が出場機会ほぼ0の高校生から1部リーグ上位のレシーバーに成長した背景(月刊バレーボール) - Yahoo!ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8266810cc6bca4e7d8e5081de170b34323d76b63>



関連記事はこちら

卒業生がバレーボール1部リーグで活躍します/2020年度卒業生 備一真さん

https://www.daido-news.jp/daido_news/student/12020.html



建築ジャーナル別冊に新校舎X(クロス)棟が掲載されました

日建グループ会社が発行している建築ジャーナル別冊に、新校舎X(クロス)棟に関する記事が掲載されました。記事では、学生たちが交流「X(クロス)」するキャンパスとして、学生が集い、ともに学び、切磋琢磨する「学びの場」が紹介されています。

また、武藤隆建築学科長とのインタビューも掲載されています。

株式会社 日建設計のHPはこちら

<https://www.nikken.co.jp/ja/index.html>



指導する小学生が愛知県小学生ハンドボール大会で3位入賞しました

3月13日(日)~27日(日)に開催された、愛知県小学生ハンドボール大会において、事務職員の八田忠(入試・広報室)さんが監督を務める小学生ハンドボールチーム「大同キッズ」が3位に入賞しました。



大同キッズは、予選リーグを1位通過すると、続く決勝トーナメント初戦も突破しベスト4に進出します。準決勝では、強豪チームを相手に惜しくも敗れてしまいましたが、2018年の創部以来初となる決勝トーナメント進出・入賞を果たすことができました。

監督の八田さんは、「選手たちはこの1年、自分たちで決めた目標に向かって粘り強く努力してきました。その頑張りがある今回の結果につながったことをとても嬉しく感じています。今後もハンドボールを楽しむこと、選手の主体性を尊重することを忘れずに活動していきます。」とコメントしました。

大同キッズ HPはこちら

<https://www.daidokids-academy.com/>



専門誌「カレッジマネジメント」に 新校舎X(クロス)棟が掲載されました

4月1日(金)発行のリクルート「カレッジマネジメント」232号に、新校舎X(クロス)棟に関する記事が掲載されました。本誌は全国の大学、短大、専門学校など、高等教育機関の経営層向けに発行している高等教育の専門誌です。記事では、アクティブラーニング化に向けて設けられたラーニング commons の配置など、X棟にちりばめられた様々な仕掛けが紹介されています。

実際の記事は下記リンクからご覧いただくことができます。

カレッジマネジメント Vol.232

Apr.-Jun. 2022 電子ブック

<https://shingakunet.com/ebook/cm/232/index.html?openpage=86>



情報誌「学校経営アカデミー」に 新校舎X(クロス)棟が 掲載されました

3月発行の情報誌「学校経営アカデミー」第38号にて、新校舎X(クロス)棟が紹介されました。

大学の充実した施設を紹介する写真特集ページにて、X棟が吹き抜けるスタジオを中心に紹介されています。



男子ハンドボール部

第11回東海ビーチハンドボール フェスタで3位を獲得しました



▲男子ハンドボール部

3月12日(土)～13日(日)、愛知県碧南市碧南緑地ビーチコートで開催された第11回ビーチハンドボールフェスタに、男子ハンドボール部が出場しました。

男子ハンドボール部は、決勝トーナメントにおいて、予選リーグで敗れたチームを見事に破り3位を獲得しました。

指導する中学生がハンドボール NTA推薦選手に選抜されました

ハンドボールの世代別最高の育成機関である、NTA(ナショナルトレーニングアカデミー)への推薦選手として、事務職員の八田忠(入試・広報室)さんが監督を務める中学生クラブチーム「大同ハンドボールアカデミー」から1名が選抜されました。



▲推薦選手(左)と八田さん(右)

中川裕太さん、濱野晴規さん
(2021年度卒業生 機械システム工学科)

第4回学生対抗スピーカー甲子園 にてSTEREO賞を受賞しました

4月19日(火)、月刊STEREO誌主催の第4回学生対抗スピーカー甲子園にて、工学部 機械システム工学科 大嶋研究室 2021年度卒業生 中川裕太さん、濱野晴規さんが製作した「コーナー設置型テレビ台用スピーカー」がSTEREO賞を獲得しました。スピーカー甲子園とは、指定されたスピーカーユニットを使ってそれを納めるボックスを製作する自作スピーカーのコンテストです。

STEREO賞は独創的なアイデアを実現していることが受賞の基準になりますが、両名の作品はスピーカーをテレビ台に組み込むという斬新な発想、共鳴管という特殊な再生方式、木材と樹脂とのハイブリッド構造、突板を用いた美しい仕上げが高く評価されました。

コンテストはコロナ禍のためオンラインで行われましたが、その様子はYouTubeで公開されました。また、月刊STEREO誌4月号にはその概要説明が、5月号には審査員による評価が紹介されました。

月刊STEREOによる作品紹介動画はこちら

<https://www.youtube.com/watch?v=s7RP8Sdpuml>



▲受賞した作品と濱野さん(左)、中川さん(右)

▶月刊STEREO 5月号に掲載されている様子



▲授与された賞状



5/14(土)東海ラジオで 大同キッズの活動インタビューが 放送されました

東海ラジオで放送中の「Saturday Flavor」内で、毎月第2・第4土曜日午後12時20分頃から「大同大学キャンパスレポート」を放送しています。

5月14日(土)は、事務職員の八田忠さん(入試・広報室)が、自身が監督を務める小学生ハンドボールチーム「大同キッズ」の活動についてインタビューを受けた様子が放送されました。

番組のHPはこちら

<https://www.daido-it.ac.jp/gallery/>

関連記事

指導する小学生が愛知県小学生
ハンドボール大会で3位入賞しました

https://www.daido-news.jp/daido_news/notice/nta-1.html



2024年4月、「建築学部(仮称)」設置構想中 4分野を横断した実学教育を展開

本学は、2024年4月に現在の「工学部 建築学科」を独立させ、新たに東海地区では初となる「建築学部 建築学科(仮称)」の設置を構想しています。

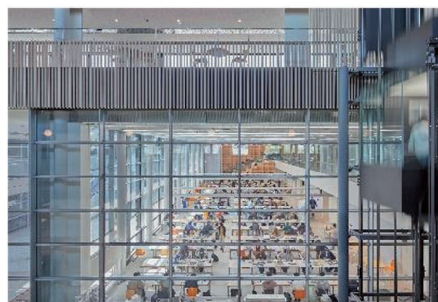
「建築学」は古くから、構造や材料などの工学的要素はもちろんの事、建築史やデザイン史などの文系的要素、美しさやデザインなどの芸術的要素を兼ね備えた総合的な学問でした。さらに、環境共生や地域再生、防災復興や修景保存などの現代的な要素も加わり、ます

ます工学だけではカバーしきれない幅広い学問領域になっています。

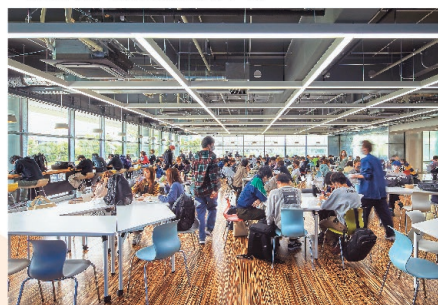
交流(クロス)をコンセプトに2021年4月に誕生したX(クロス)棟を拠点として、学部設置される建築、インテリアデザイン、土木・都市環境、かおりデザインの4つの分野の充実した実学教育とそれらを横断するプログラムを展開し、「建築学」に関連する様々な分野の知識を身につけることで、時代や社会の変化にも対応できる、未来を変える人材の育成を図ります。

【新学部の構想】

学部学科名称	建築学部 建築学科(仮称)
入学定員	190人
設置(予定)時期	2024年4月



▲150名収容可能な大規模「スタジオ」



▲学生の憩いの場「学生ホール」



▲学びの拠点 X(クロス)棟



▲吹き抜けのDクロスモール

※「建築学部(仮称)」の情報につきましては、詳細が決まり次第、本学ホームページ等で発信してまいります。

なお、設置計画は予定であり、内容を変更することがあります。

「DAIDO CAMPUS」の表紙を 情報デザイン学科 4年生の 保田勇晴さんがデザインしました

「変化・成長」をテーマに表紙のデザインを作成しました。ひまわりは太陽に向かって咲くと言われていて、その太陽を目標に見立て、目標に向かって咲くという意味を込めてひまわりを採用し、ひまわりを自分に見立て、ひまわりに色を塗ることで「どんな自分にもなれる」という意味を込めました。大同大学ではいろんなスキルや知識を身につけることができます。学生一人ひとり、やりたいことが違うのをパレットに見立て、「十人十色」を表現しました。

最初は、難しいテーマだと思いましたが、いろいろなことに挑戦でき、とても楽しかったです。プレッシャーに押しつぶされそうになりましたが、いいデザインが完成してよかったです。

